



# 長崎大学 機関リポジトリについて

長崎大学学術情報部(附属図書館)

2006年11月15日

# 機関リポジトリとは...

- 長崎大学で生産された電子的な学術研究成果を保存・発信するシステム
  - 学術研究成果を一元的に収集・蓄積し、永続的に保存
  - 学術研究成果を世界中へ効果的に発信し、無料で利用可

# 長崎大学 機関リポジトリのしくみ

長崎大学の研究者

各種研究成果の投稿

世界へ  
発信！

長崎大学  
機関リポジトリ



検索エンジン

検索・閲覧・  
ダウンロード

投稿

従来のルート

学術雑誌

購読

学術雑誌の高騰  
購読誌数の削減

誰でも  
無料！

世界中の研究者＝論文読者

# なぜ今 “リポジトリ”なのか

- 『学術情報基盤の今後の在り方について(報告)』より
  - ……各大学は機関リポジトリに積極的に取り組む必要があり、…大学図書館が機関リポジトリの構築・運用に中心的な役割を果たすことを期待。
- 長崎大学『中期計画』より
  - 国内外に学術情報を発信するため、各分野にわたる既存の学術情報を整理するとともに、国際共同研究を推進していく過程等で得られた学術情報を国際的に活用できるよう附属図書館を中心に学内組織を整備し、データベースを構築する。
- 長崎大学『平成18年度年度計画』より
  - 附属図書館は学内で作成された研究成果を収集・発信する学術機関リポジトリの構築・拡充を図るとともに、国立情報学研究所最先端学術情報基盤構築の推進委託事業を継続する

# 長崎大学の機関リポジトリ トップページ

NAOSITE

長崎大学学術研究成果リポジトリ(仮称)

The screenshot shows the homepage of the Nagasaki University Repository (NAOSITE) in a Microsoft Internet Explorer browser window. The browser title is "Nagasaki University Repository: ホーム - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows the URL "http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp:8080/dspace/index.jsp". The page header features the NAOSITE logo and the text "長崎大学学術研究成果リポジトリ (仮称) Nagasaki university's Academic Output SITE" and "長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY". The main content area is divided into three columns. The left column contains a search box with a "検索" button, a "詳細検索" link, a "ホーム" link, a "ブラウズ" section with links for "コミュニティ & コレクション", "タイトル", "著者", and "日付", and a "登録利用者:" section with links for "購読情報編集", "マイリポジトリ 登録利用者", "利用者情報編集", and "ヘルプ". The middle column displays the site title "長崎大学 学術研究成果リポジトリ(仮称)", a message "長崎大学の機関リポジトリサイトを試験公開しています。(試験公開日: 2006年4月28日)", a search box with a "検索" button, and a section titled "このリポジトリのコミュニティ" with a message "コレクションを閲覧するコミュニティを選択してください." and a list of collections: "工学部 [27]" and "熱帯医学研究所 [1132]". The right column contains a link to "長崎大学工学部研究紀要".

<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/>

## 一覧画面と詳細表示画面

Nagasaki University Repository: ブラウズ: タイトル - Microsoft Internet Explorer

http://naosite.lib.nagasaki-u.ac.jp:8080/dspace/handle/123456789/7/browse-title

長崎大学学術研究成果リポジトリ  
NAOSITE (仮称)  
Nagasaki university's Academic Output SITE

リポジトリ検索  
検索

ブラウズ: タイトル

移動先: 0-9 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z  
タイトルの先頭数字文字を入力して移動:  移動

アイテム表示: 1-21 / 27.

発行日	タイトル	著者
Jul-2005	2005年福岡西方沖地震による福岡市内のRC構造物の被害調査報告	"木村, 祥裕, 天本, 朱美, 修行, 稔"; "KIMURA, Yoshihiro; AMAMOTO, Akemi SHUGYO, Minoru"
Jul-2005	Analysis of Local Vibrations in the Stay Cables of an Existing Cable-stayed Bridge under Wind Gusts	"WU, Qingxiong; TAKAHASHI, Kazuo; NAKAMURA, Shozo"
Jul-2005	Influence of Cable Loosening on Nonlinear Parametric Response of Inclined Cables	"WU, Qingxiong; TAKAHASHI, Kazuo; NAKAMURA, Shozo"
Jul-2005	The Difference between Stated and Measured Travel Data and Their Impact on Environmental Valuation by Travel Cost	"AHMED, Sarwar Uddin; GOTOH, Keinosuke; TACHIIRI, Kaoru"

Nagasaki University Repository: Item 123456789/3763 - Microsoft Internet Explorer

http://naosite.lib.nagasaki-u.ac.jp:8080/dspace/handle/123456789/3763

長崎大学学術研究成果リポジトリ  
NAOSITE (仮称)  
Nagasaki university's Academic Output SITE

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください:  
<http://hdl.handle.net/123456789/3763>

タイトル: 2005年福岡西方沖地震による福岡市内のRC構造物の被害調査報告  
その他のタイトル: Report of Damage to RC Building Structures Cause by Fukuoka Seihoouki Earthquake in 2005

著者: "木村, 祥裕  
天本, 朱美  
修行, 稔"  
"KIMURA, Yoshihiro  
AMAMOTO, Akemi  
SHUGYO, Minoru"

キーワード: Fukuoka Seihoouki Earthquake acceleration reply spectrum new earthquake proofing design method liquefaction

発行日: Jul-2005

引用: "長崎大学工学部 研究報告 REPORTS OF THE FACULTY OF ENGINEERING 36(65), p.33-37. 2005"

抄録: "The Fukuoka Seihoouki Earthquake, magnitude 7.0, occurred at 10:53 A.M. on March 20th 2005. Its hypocenter lay 9km beneath the about 40km northwest offing of Fukuoka. In Fukuoka, it recorded seismic intensity a little less than 6 at the maximum. Severe structural damage was primarily observed in old RC structures. New RC structures were damaged to non-structures such as windows and faced walls. In reclaimed land such as Hakata port wharf, the damage by liquefaction was seen. This report

# 研究者の皆さまのメリット

## 可視性の向上

学術研究成果を登録・公開



世界の研究者に発信



論文の可視性が向上

## 新たな研究成果発表の場

世界中からのアクセスが可能



- ・新たな研究成果発表の場に
- ・大学の研究活動の公表の場に

長崎大学  
機関リポジトリ

## 引用率のUP

可視性の向上



引用率のUP



研究者評価につながる

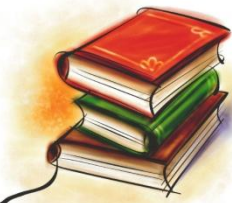
## 学術研究成果の保存・管理

研究成果・教材を図書館で保存・管理



長期的な保存・利用が可能

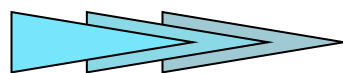
\* 各論文は固有のURLを持ち、永続的に無変更



# メリットその1 可視性の向上

長崎大学  
機関リポジトリ

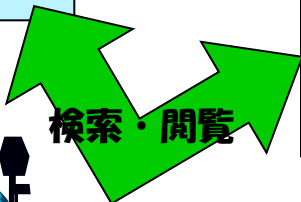
長崎大学機関  
リポジトリで



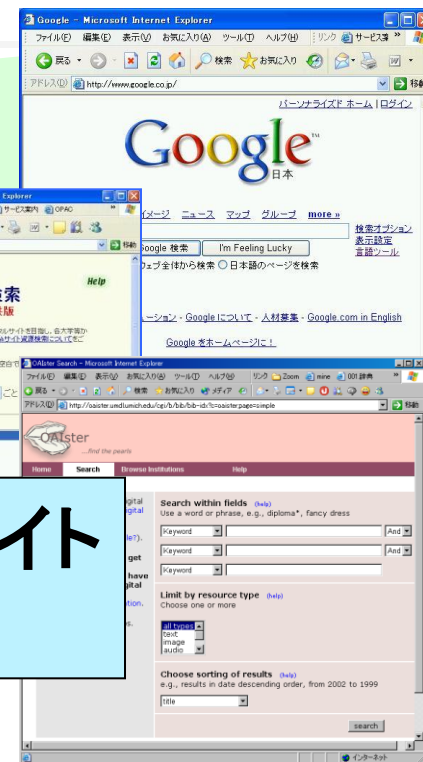
検索対象へ



世界の検索サイトを  
通じて \*



検索・閲覧



雑誌購読者以外にも、読者層が広がる



## メリットその2

# 被引用率のアップ

学術研究成果の公開

長崎大学  
機関リポジトリ

可視性が  
UPすると...

世界中の研究者から



引用される機会が  
増える!

研究者評価につながる!



## メリットその3

# 新たな研究成果発表の場



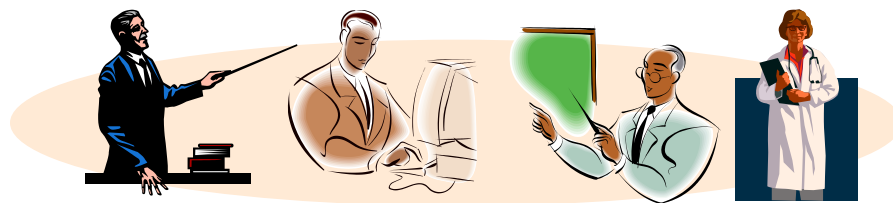
学術誌投稿



学会発表



世界中から無料で  
アクセスが可能！



- 新たな研究成果発表の場に！
- 大学の研究活動の公表の場に！（説明責任の履行）

## メリットその4

# 学術研究成果の保存・管理

教員

毎年生成される  
研究成果・教材など

登録

長崎大学  
機関リポジトリ

大学で保存・管理

各論文は固有のURLを持ち、  
永続的に無変更

大学がデータの保存・利用を恒久的に保証します！

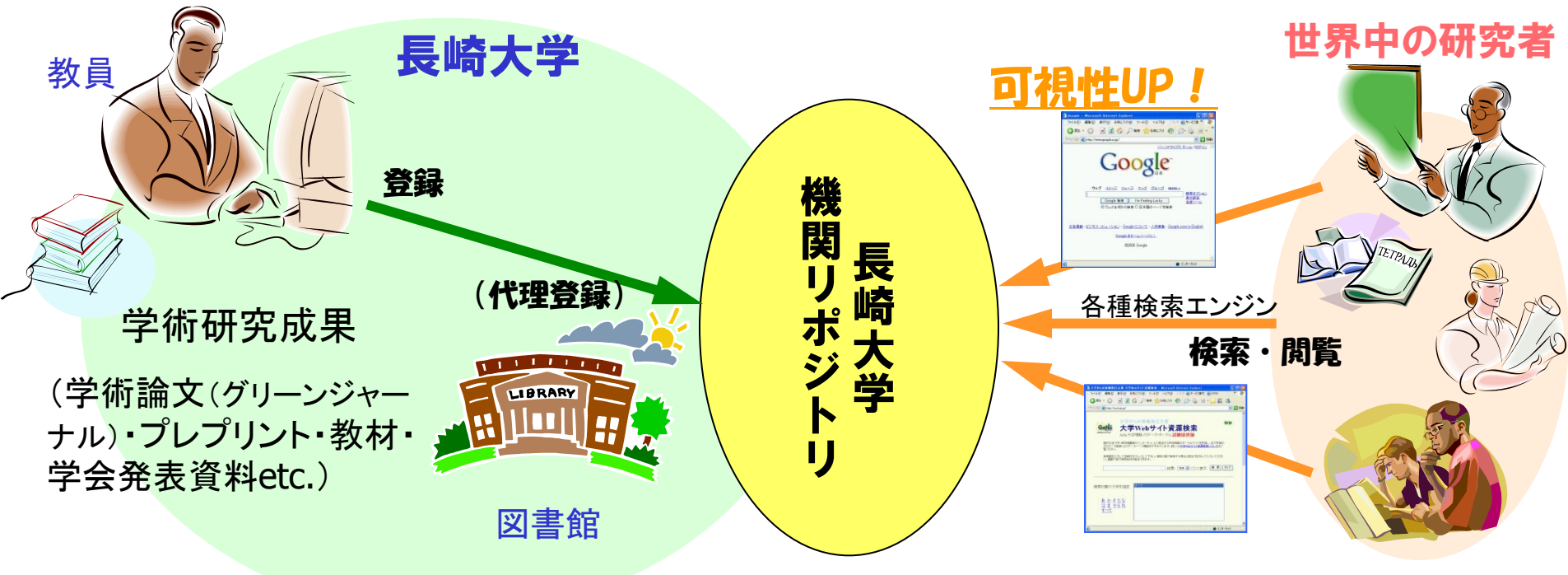


**先生方をお願いしたいこと**

---

# 学術研究成果を 機関リポジトリへ！

機関リポジトリの発展には先生方の協力が不可欠です！



機関リポジトリに登録するコンテンツを  
ご提供ください

# 登録できるコンテンツ例

## 学内学術研究成果

学術論文

プレプリント

紀要掲載論文

修士・博士論文

学会発表資料

COE研究成果

調査報告書

シンポジウム資料

講義資料

教材

...etc

※特許申請等に関わり公表できないものに関しては、一定期間経過後ご提供ください。

# 学術雑誌投稿論文

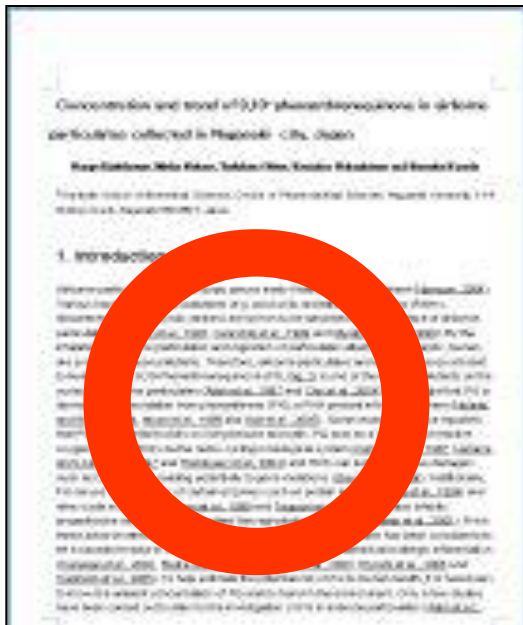
## 著者最終版の保存・提供

外国出版社の場合、

著者最終版の機関リポジトリ登録が許可されているものが**9割！！**



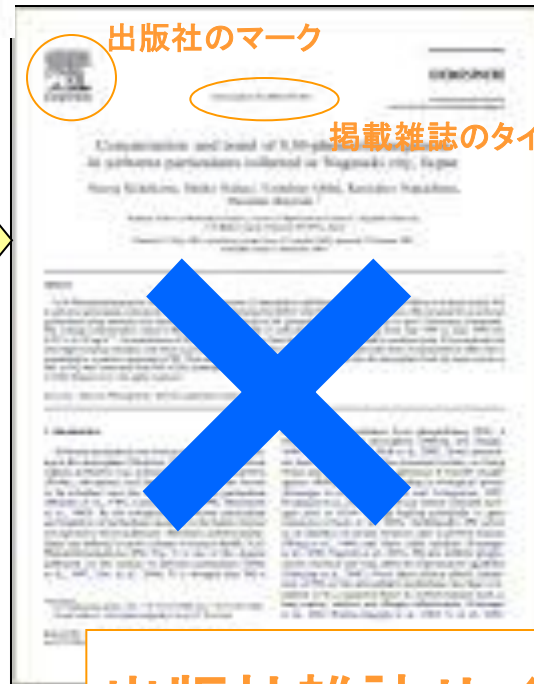
投稿用原稿 = 著者最終版



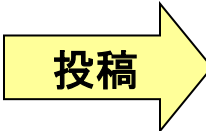
リポジトリに搭載



出版原稿

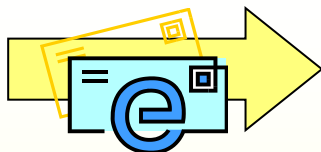


出版社雑誌サイトで公開



# 学術研究成果の提供は、 電子メールで送るだけ！

教員



図書館



学内便でCDなど電子  
媒体を送付でもOK

■ **いただいた文献は、図書館で著作権上の確認を行ったうえ、リポジトリで公開いたします。**

※共著者への著作権の確認に関しては、  
先生にお願いする場合があります。



# 研究成果物

# リポジトリ登録までの流れ



「長大の知」を蓄積・発展させるため、是非登録にご協力ください！



# 問い合わせ先

コンテンツの提供についてもこちらへ

学術情報部 学術コンテンツ担当

内線 2195

**ご協力お願いいたします**